

お客様各位

アイエスジー株式会社

## 【重要】冬のガス給湯器周りの凍結予防対策について

謹啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、今冬は厳しい寒さが続いており、お客様から凍結が原因と思われる「お湯が出ない」とのお問合せを多数いただいております。下記に凍結予防策と凍結時の対応をご案内させていただきます。

ご不明な点等ございましたら、お近くの営業所課、またはコールセンターへお問合せください。

敬白

記

### 【凍結予防策】

#### 1.給湯器本体の凍結対策

- (1) 給湯器本体から出ている電源コードは抜かない。
- (2) 長期不在や外出時に室内の電源ブレーカーを下げない。

※給湯器本体には凍結防止ヒーターが取り付けられています。本体の電源が入っていないとヒーターが働かず、本体が破損する場合があります。現在給湯器の交換や修理には大変時間がかかる場合がございますので、ご注意願います。

#### 2.水道管の凍結対策

- (1) 凍結が予想される日は、給湯器のリモコンの運転スイッチをオフにし、お湯の水栓蛇口から少量のお水を流し続ける。

※リモコンがない場合は、ガス給湯器のガス栓をしっかりと閉めてください。

再度お湯をお使いになる際にはガス栓を開けてからお使いください。

- (2) タオルや新聞紙などを給水バルブ周りに巻いて、翌朝の凍結を防止する。
- (3) 配管に凍結防止ヒーターを取り付ける。

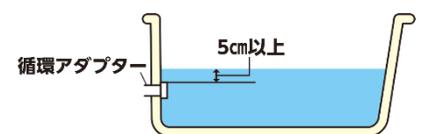
※お近くの営業所課にご相談ください。

#### 3.追い焚き配管の凍結対策

- (1) 追い焚き機能付きの場合、浴槽にお水を溜めておくことで給湯器内部の配管の凍結を防止する。

※お水が循環アダプター上部より5cm以上ある状態にしてください。

※あくまで給湯器と浴槽を循環している配管の凍結対策です。水道管部分の凍結防止には効果はありません。



### 【凍結によりお湯が出なくなってしまった場合は...】

- ・外気温が上がり、自然にとけるまでお待ちください。
- ・お急ぎの場合は、ホットタオル等で給水バルブ付近をゆっくり温めてください。

※水道配管の保温材は熱に弱いので、急激な過熱は避けてください。

### 《注意:凍結部に直接お湯をかけないでください!》

水が保温材内に入ると翌朝凍結を助長させる原因となったり、電源コードやリモコン線に水をかけると故障の原因となります。また、急激な温度変化は配管の破裂の危険があります。

【お問合せ窓口】 アイエスジー株式会社 お客様コールセンター

TEL:047-429-1234 (受付時間:8:30~18:30)

以上